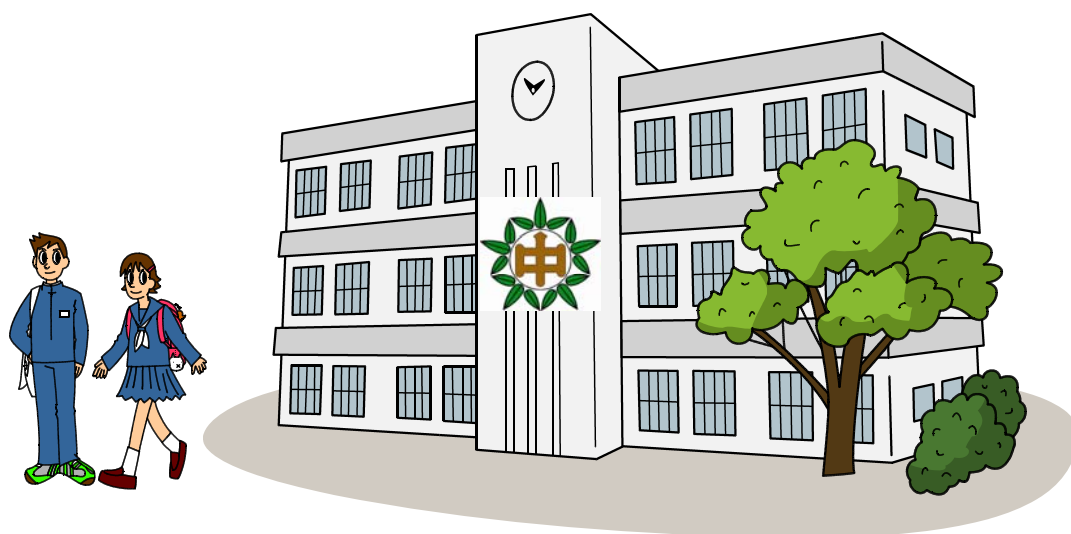


# 学習の架け橋

―世田谷区立駒沢中学校で学ぶみなさんへ―



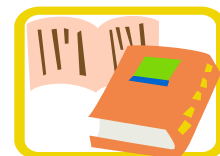
駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

## 学習はどのようにしたらいいのかな ～各教科～

各教科の学習の目標や学習のポイントの例などを紹介します。参考にして、学習に取り組みましょう。

### 国 語

「言語は私たちの考え方をつくる」(ウォーフ)



#### (1) 国語の学習では

日常生活の中で考えたり、感情を表現したりする時、私たちは「言葉」で考え、「言葉」で表現します。全ての学習や生活の基本となる「言葉」について、語いを豊かにし、「言葉」のきまりや特徴をとらえながら正確に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする力や情報を活用する力、漢字や熟語、文法、作文、古典や漢詩などの「ことばの力」を身に付け、国語を正しく表現する力を伸ばしていきます。

#### (2) 学習のポイント

##### 【授業では】

- ・文章や言葉に関する問いかけに対し、自信をもって、自分の考えをしっかりと伝えよう。
- ・重要語句については、意味を覚え、短文が作れるようにしよう。
- ・古典などの重要な語句や文法は確実に覚え、説明ができるようにしよう。

##### 【予習は】

- ・教科書の本文を音読し、辞書を使って分からない語句を調べておこう。
- ・新出漢字などを練習しよう。
- ・分からない語句は文章の流れから意味を考えたり、辞書を使って調べたり書いたりして、たくさんのことばを習得しよう。

##### 【復習は】

- ・資料集などを使って、さらに詳しく調べノートにまとめておこう。
- ・単元が終わったら問題集やプリントで学習内容を確認しよう。

##### 【その他】

- ・学校や地域の図書館を利用して、できるだけたくさんの本を読もう。段落や内容のまとまりに注意して読み、長文に慣れ、読解力を高めよう。
- ・場面に応じた適切な言葉遣いをするように心がけよう。
- ・文を書くときには漢字を使うように心がけよう。

##### 【考查前】

- ・教科書を読む。 ・漢字の読み書きを練習する。
- ・作者の心情の変化や主張などをつかむ。
- ・本文中の代名詞が指すものをつかむ。
- ・文法問題を練習する



## (1) 社会の学習では

社会の学習は、1・2年生で地理と歴史を学習し、3年生で歴史と公民を学習します。基本的なことばや年号を覚えるだけでなく、地図や年表、写真やグラフなどの資料をよく見て、気がついたことや疑問に思ったことについて考え、よりよい社会をつくっていく力の基礎を身に付けていきます。

【地理】地球上の様々な地形や気候によって、私たちの生活が変化することを知るおもしろさがあります。高いところと低いところ、暑いところと寒いところの衣・食・住などの文化がどうしてちがうのかもわかってきます。

また、水や資源によって産業がさかんになったり、ものを運ぶルートができたりすることにも気付きます。地図やグラフをよく見るようにすると、いろいろなことがわかってきて、地理の学習がより楽しくなります。

【歴史】これまで人類が歩んできた道筋をたどり、現代に行き着くまでの人々の営みを知るおもしろさがあります。歴史上の人物は、どうしてそう考えたのか、行動した結果どうなったのか、それがもとになってどんなことが起きたのか、学習していくと、そこに人間のドラマがあることに気付きます。年表などで日本と世界の出来事の関係性を調べたり、地図を使って場所を調べたり、また、伝記や歴史小説を読んだりすると、歴史の学習がより楽しくなります。

【公民】地理と歴史の学習をもとにして、今日の社会・経済のシステムがどうなっているのか、新聞やニュースで取り上げている身近なことがわかっていくおもしろさがあります。

ふだんから見たり聞いたりするさまざまな出来事の意味や理由がわかるだけでなく、未来の予測も自分なりにできるようになると、公民の学習がより楽しくなります。

## (2) 学習のポイント

### 【授業では】

- ・日本の47都道府県や世界のおもな国の名前と位置をいつも考えて話を聞こう。
- ・ノートにメモ欄をつくり、授業中に先生が話したこと、気付いたり考えたりしたことをメモしよう。簡単な地図やイラスト、吹き出しを描いて、わかりやすく工夫しよう。
- ・地図帳や年表などを活用して、いつ、どこで、どうして、日本と世界の関連は、などの視点で自分の考えをまとめ、それを書いたり、発表したりしよう。

### 【予習は】

- ・教科書に出てくる地名や人物名を地図帳や年表などを活用して調べておこう。
- ・自分が知っていることをノートのメモ欄に書いておこう。

### 【復習は】

- ・授業で学習した重要な語句を調べ、語句と関係のある地図や年表などの資料も確認しよう。
- ・ICTなど、さまざまなツールを活用して、できるだけ詳しく調べてみよう。

### 【その他】

- ・本や新聞をよく読んだり、ニュースを見たりして、日本や世界の出来事に関心をもとう。
- ・地図と年表、資料をいつも見比べて、分野のつながりを考える習慣をつけよう。
- ・47都道府県と世界のおもな国の名前や位置をもとに地図を描けるようにしよう。

### 【査査前】

- ・教科書を読む。 ・ノートやプリントで学習内容を確認する。
- ・重要語句、地図、年表などを、教科書や資料集を見ながら確認してまとめる。



## (1) 数学の学習では

私たちの生活の中には、数の計算や数を使った資料・情報の処理など、数学に関することがたくさんいかにされています。また、数学の考え方や表現の仕方などを学ぶことは、筋道立てて論理的に考え、的確に表現したり、見通しを立てて生活したりすることにつながっています。数学を学ぶことで、数量や図形などの基礎的な理解を深め、身近な課題を解決したり、ものごとを合理的に処理したりする力を身に付けていきます。

## (2) 学習のポイント

### 【授業では】

- ・答えを出すことだけではなく、考え方にも着目しよう。(途中経過を大切にしよう。)
- ・友達の考え方にもふれ、できるだけ多くの解法を学ぼう。
- ・図形や図を正確に書き写すようにしよう。
- ・計算は丁寧にいき、必ず確かめをしよう。

### 【予習は】

- ・今まで学習した、計算、図形の知識を見直しておこう。

### 【復習は】

- ・問題集などで同様の問題をやり、自分の力を確認しよう。(反復練習をすることで力がつきます。)
- ・まちがえた問題は、なぜまちがえたかを考えながら、繰り返し取り組もう。(どうしてもわからないときは先生に聞いてください。)
- ・ICTで示されたポイントや考え方など、整理して記録しよう。
- ・四則(+-×÷)が混ざった分数や小数の計算、正の数と負の数の計算は、教科書や問題集で繰り返し反復練習をしよう。計算はていねいに行い、必ず途中式や答えを確かめよう。
- ・公式を使って答えを出すことだけではなく、公式の意味やどうしてそうなるのかを考えよう。また、他のやり方で答えが出せないか、いろいろな解法を考えてみよう。

### 【その他】

- ・わからないところは先生に質問し、その場で解決する習慣をつけよう。
- ・できるだけたくさん演習(紙に書いて問題を解く)をしよう。
- ・生活の中にある数量関係や図形などに関心をもとう。

### 【考査前】

- ・教科書で解法を確認する。 ・教科書の練習問題やワークを繰り返し解く。
- ・問題集などで演習問題を多く解く。 ・文章題にチャレンジし、わかるまで解く。
- ・表からグラフをつくりながら、式→グラフ、グラフ→式を繰り返し解く。
- ・定規、コンパスを使い、作図する。 ・定義や定理を確認し、証明問題を解く。





## (1)理科の学習では

科学技術は、日常生活や社会を豊かにしますが、これからの社会は、より安全性が高く、人や地球環境にやさしい乗り物や建物、ロボット、薬品や食品などをつくる科学技術が求められます。自然や生物、物理や化学などの学習と観察や実験などを通して、自然の事物や現象についての科学的な見方や考え方、科学技術の基礎を身に付けていきます。

【第1分野】 物質やエネルギーに関する現象(物理・科学)について、観察や実験などを通して、そのしぐみを学びます。

【第2分野】 生き物とそれを取り巻く自然の事物・事象(生物・地学)について、観察や実験を通して、そのしぐみを学びます。

## (2)学習のポイント

### 【授業では】

- ・重要な語句や理論、法則を理解しよう。
- ・実験器具や薬品などの名称や使い方を覚えよう。
- ・何を調べるのか、目的をはっきりさせて観察、実験に取り組もう。
- ・実験の方法などを振り返り、なぜそういった結果になったかを整理・分析しよう。

### 【予習は】

- ・生活の中の自然を見て、疑問に感じたことやおもしろそうだったことを記録しておこう。

### 【復習は】

- ・ICTで示されたポイントや授業で学習したことを言葉でまとめるなど、整理して記録しよう。
- ・学んだことが、身の回りの生活の中でどのように活用されているのか、考えよう。

### 【その他】

- ・科学に関するニュースを記録して、『なぜ、どうして』と普段から考える習慣をつけよう。
- ・区のカリレオ(理科)コンテストに進んで参加するなど、学習したことを発表しよう。
- ・エネルギーや環境など、身近な問題として考えてみよう。

### 【査査前】

- ・教科書を読む。 ・ノートやプリントで学習内容を確認する。
- ・重要語句、実験や観察などを、教科書や資料集を見ながら確認してまとめる。



## (1) 英語の学習では

身近な生活場面の会話から、新しい表現や単語、語句、文法、作文などを習得しながら、外国の文化・言語等の中で生活している人々の考えを理解し、ともに協力して生きていくことができるようになるために、英語によるコミュニケーションの力の基礎を身に付けていきます。

## (2) 学習のポイント

### 【授業では】

- ・恥ずかしがらず、積極的に英語を使ってコミュニケーション活動を楽しもう。
- ・これまでに学んだ文法を使って、積極的に話したり書いたりしよう。
- ・英語を通して外国や日本の文化・言語などを学び、自分の考えを広げよう。

### 【予習は】

- ・本文を音読しよう。
- ・新出単語やイディオムなどの意味を調べておこう。可能であれば、教科書の本文の意味を考えたり、ノートに写したりしてみよう。

### 【復習は】

- ・学校で学んだ範囲の教科書のページを10回以上音読しよう。
- ・ICT で示されたポイントや授業で学んだ基本文を繰り返し読んだり書いたりして、理解を深めよう。
- ・単語やイディオムを繰り返し声に出したり、書いたりして覚えよう。
- ・学校で配布されたプリント、ワークブック、問題集を繰り返しやり直そう。

### 【その他】

- ・授業以外でもALTの先生に積極的に話しかけたり、世田谷区立中学校英語スピーチコンテスト(レシテーション、スピーチ、プレイ)に積極的に参加したりしよう。
- ・英語の文章を読んだり、ラジオやテレビなどの英語番組や英語の歌などを視聴するなど、日常の英語に関心をもとう。
- ・単語や基本的な構文は毎日練習しよう。ふだんから単語や英文を声を出して読む習慣、何度も書く習慣をつけよう。

### 【査査前】

- ・教科書を読む。 ・教科書の基本文を繰り返し書き、基本文を使って英作文をつくる。
- ・単語を繰り返し書く。 ・ワークや問題集を繰り返し解き、読み返す。

## 音 楽

「音楽は人生を二倍にしてくれる」(プリュドム)



### (1) 音楽の学習では

音楽活動は、「音によるコミュニケーションだ」という考え方があります。友達と協力して音楽活動を工夫したり、ともに表現する喜びを味わったりします。また、鑑賞を通して感じたことを言葉で伝え合い、さまざまな感じ方があることに気付くことも大切です。音楽に親しみ、他の人とのコミュニケーションを楽しみながら、生活を明るく豊かなものにしていく力を身に付けていこう。

### (2) 学習のポイント

#### 【授業では】

- ・音楽の楽しさを味わいながら、友だちといっしょに歌ったり聴いたり、またその感想を話し合ったりしよう。
- ・音階や記号の意味を理解し、歌ったり演奏したりしよう。
- ・リコーダーなどの楽器の演奏の仕方を学ぼう。
- ・鑑賞では、曲の感じを味わったり、作曲者や曲に関することがらを調べてみよう。

#### 【ふだんの生活では】

- ・様々なジャンルの音楽に親しみ、歌ったり、聴いたりしてみよう。(時間や場所に注意しよう)
- ・学校で勉強したりリコーダーなどの楽器の練習をしよう。(時間や場所に注意しよう)
- ・学校で習った歌の歌詞を読んで、情景をイメージしてみよう。

## 美 術

「子どもは誰でも芸術家だ」(ピカソ)



### (1) 美術の学習では

自分の感じ方や思いを表現し、創り出す喜びを味わったり、すばらしい芸術作品を鑑賞したりして、様々な対象の中にあるよさや美しさを感じ取ったりして、日常生活をより豊かにする力を身に付けていきます。

### (2) 学習のポイント

#### 【授業では】

- ・鉛筆や制作のための参考資料などを準備し、ICTで示される作品などをよく見ておこう。
- ・発想を豊かにし、感じたことを素直に作品や言葉で表現して、伸び伸びと取り組もう。
- ・授業のポイントに沿って、制作のアイデアをたくさん考えよう。
- ・自分の感じたことを話したり友達の考えを聞いたりするなど、話し合って考えながら制作したり、鑑賞したりしよう。

#### 【ふだんの生活では】

- ・教科書や学校で配布されたプリント等を用いて授業で学んだ用語や技法などの復習しよう。
- ・身近な材料や形、色のおもしろさなどの特徴に関心を持ち、自然や建築物、身の回りの様々な道具などから美しさを感じ取ろう。
- ・日本や世界の様々な作品や作家に興味を持ち、その魅力を味わおう。
- ・美術館や展覧会に行き、様々な美術作品や文化遺産などを鑑賞するようにしよう。

## 保健体育

「健康は第一の富である」(エマーソン)



### (1) 保健体育の学習では

体力は人間の活動の源であり、健康の維持のほか、意欲や気力といった精神面の豊かさに大きくかかわっています。また、精神と身体は相互に影響を与えています。体力をつけ、心の健康を保ち、健康な生活習慣を身に付けていきます。

### (2) 学習のポイント

#### 【授業では】

- ・健康に必要な知識や運動技能を、授業のポイントに沿って自分なりに工夫して習得するようにしよう。
- ・自分の体力の状況を考えて、目的に合った運動の計画を立てて取り組もう。
- ・友達といっしょに運動したり、教え合ったりしながら、身体を動かす楽しさを味わおう。

#### 【ふだんの生活では】

- ・運動の仕方やルール、用語などを調べておこう。
- ・生活の中で、運動や身体を動かすことを積極的に行なおう。
- ・部活動等を含めて、様々なスポーツに触れたり観戦したりして楽しもう。
- ・睡眠、休養、栄養のバランスなどに注意し、健康管理を行おう。

## 技 術

「この世界は面白いことでいっぱいだ」(ベル)



### (1) 技術の学習では

現代社会で広く活用されている技術を使ったものづくりの経験を通して、技術と社会・環境とのかかわりを考えることで、現代や将来において利用される様々な技術を活用できる力を身に付けていきます。

### (2) 学習のポイント

#### 【授業では】

- ・道具や機械の名称や仕組み、ものづくり方や作物の育て方などを理解しよう。
- ・道具の使い方や機械の操作を体験するとともに、製作の計画と過程を大切にしよう。
- ・安全に注意して作業しよう。
- ・栽培を通して、自然や生命の大切さを実感しよう。

#### 【ふだんの生活では】

- ・ものづくりに関する様々な情報に関心をもとう。
- ・普段からコンピュータにふれ、操作に慣れるようにしよう。
- ・エネルギーや環境問題について考えよう。
- ・様々な生活の場面で、学習したことを積極的に活用しよう。

## 家 庭

「愛は家庭に住まうものだ」(マザー・テレサ)



### (1) 家庭の学習では

衣食住などの学習を通して、生活に必要な知識や技術を習得することで、身の回りの環境を整え、よりよい家庭生活を送ることができる力を身に付けていきます。

### (2) 学習のポイント

#### 【授業では】

- ・用具の名称や用語などを理解しよう。
- ・用具の使い方や製作の方法を理解し、製作の計画と過程を大切にしよう。
- ・安全に注意して実習に取り組もう。

#### 【ふだんの生活では】

- ・教科書や学習内容に関連する本などを読んだり情報を収集したりしよう。
- ・調理や被服など授業で行なった学習を家庭でも実践して、生活が豊かになる工夫をしよう。

## 中学校の学習の心がまえは

### 授業共通

- チャイム着席をする
- あいさつは大きな声でする
- 忘れ物をしない
- 私語はしない、発言は積極的にする

### 学習の習慣

- ・規則正しい生活習慣が学力と深く結びついています。毎日机に向かい、予習や復習をすることで、生活のリズムを整えましょう。忘れ物もしないようにしましょう。
- ・予習をていねいにしておくと、授業が楽しくなります。教科書を読んで分かっていることと分からないことをはっきりさせておきましょう。
- ・復習を毎日することで、学力が身に付きます。授業で気になったこと、十分に理解できなかったことは、ノートやプリントなどを見直してすぐに復習しましょう。
- ・宿題はその日のうちにやり、期限を守って提出しましょう。提出物は早めに取りかかりましょう。
- ・学習した漢字や計算などを、日常の様々な場面で使ってみましょう。
- ・学習したことに関係する本や資料などを読み、知識をさらに深めましょう。



## 定期考査

- ・テストの範囲はあらかじめ分かるので、努力すれば成果が上がります。
- ・各教科の学習計画を立て、教科書・ノート・プリントなどで授業をふり返りましょう。暗記だけでなく、自分の考えもまとめておきましょう。

## 学習するときに大切なことは何だろう

### 考えること

- ☐ これまでに学習したことを思い出したり組み合わせたりして考えましょう。
- ☐ 筋道を立てて考えましょう。「こうすればこうなるのではないか」というように、先を見通して考えましょう。
- ☐ 自分の考えをもち、理由をはっきりさせるようにしましょう。考えを書き出して整理してみるのもひとつの方法です。
- ☐ 友だちの考えなどをもとにして、自分の考えをさらに深めましょう。

### 表現すること

- ☐ 自分の考えが相手に伝わるように、伝え方(話し方、書き方)を工夫しましょう。

### ※ノートに書くこと

- ☐ ノートは先生の説明や自分の考えをメモするスペースを作るなど、ていねいに工夫してとるようにしましょう。
- ☐ 自分の本や資料で調べたとき、分かったことはノートにまとめておくようにしましょう。

## 困ったことがあったら相談を

学校生活について、学習のことはもちろん、心配なことや困ったことがあったら、そのままにせず、担任の先生をはじめ、教科の先生、部活動の顧問の先生、保健室の先生やスクールカウンセラーなど、自分が相談しやすいと思う人に相談してみてください。

駒沢中学校の電話番号：3422-7401  
スクールカウンセラー直通電話番号：3422-8063

